

まち育て検討部会から 報告と提案

部会長 鈴木直文

まち育て部会の活動経過

- 2010.12.15 顔合わせ
- 2011.1.27 第1回
- 2011.2.27 第2回
- 分科会x2回
- 2011.3.13 第3回
- 2011.12.8 第4回
- 分科会x2回
- 2012.1.21 国立プレッシャー
- 分科会x2回
- 2012.2.2 第5回
- 分科会x1回
- 2012.4.20 三部会合同意見交換会
- 2012.7.25 第6回
- 2012.8.2 第7回
- 2013.7.26 第8回
- 2013.8.4 第9回
- 2013.8.23 第10回
- 2013.8.31 高架下等体感会 & まちづくり歴史展示会 & 第11回
- 2013.9.10 第12回

まちを育てるために駅周辺をどういう場所にするのか？
＝駅周辺デザインに活かすコンセプトを出す！

駅周辺コンセプト

= 多様な人々の活動が共存できる場所

→これを可能にする第3案を！

国境のこまごま
論れる駅周辺
歴史に裏付けを
シンボル

子役の居場所
が必要
この中にも

この中にも
シンボル

中心の南北は
広場

駅前とまじり
個別はまかせ

反対ではな
共存可能案を

国分寺と連けい

集客力

「先き」がキーワード
3駅 高輪谷 磯波
広場 駅前 安全 通

安心安全

南北は一体

居こころの
良い空間
人が集まる

1案が2案と
南北全2案使う
イベント

反対ではな
共存可能案を

文化の発信地

南北全2案
防災拠点になる

駅の施設と関連
したスペース

駅と商店と
この一体化

バリアフリーが基本
広場から各通りへ
行きたいと思う場所

防災の拠点

情報発信

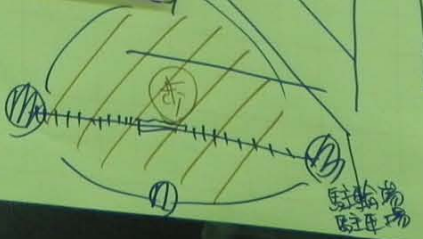
反対ではな
共存可能案を

AIMシエー

通勤交通規制
重要 周辺の安全

旧駅舎とAIMが
固は一体

「ゾーン」
システム



1A5

町のカタ

北口は現状
下サイン維持が
のぞましい。

1. 都市計画
2. 防災
3. 交通
4. 環境
5. 経済

スポーツ施設
(バスケ etc)

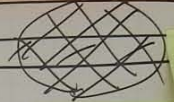
貸しスタジオ

タイムシェア

東武線下は
駅前(1)を
2に10分
3に10分

図書館
機能

決まってるけど
あんなに一体的に
検討させてほしい。



備前川
暫定利用

西側公共用地
に市の本庁舎を
移す。

ロマネスク様式の
三角屋根駅舎は、一
層の建物と様式が
同じなので、シンボル統一
のほうがいい。

駅舎復原は
費用面で検討

防災の観点
震災時対応

FM局?
CATV局

使い方は別途
シナリオで決める
(急がない)

まちのほととぎす
場所をつくる

ロータリー
Eがけ

防災面から
広場は必要。

静けさ

雨の日や
夕べの
夕べの
夕べの

災害時の
備蓄(水、ML)

駅前空間、日常使いの
ことが大切。
一時休みに開放社等
は、基本的に何も
ないほうがいい。

3.4.10

3.4.10号線
の意味が希薄

歩行者

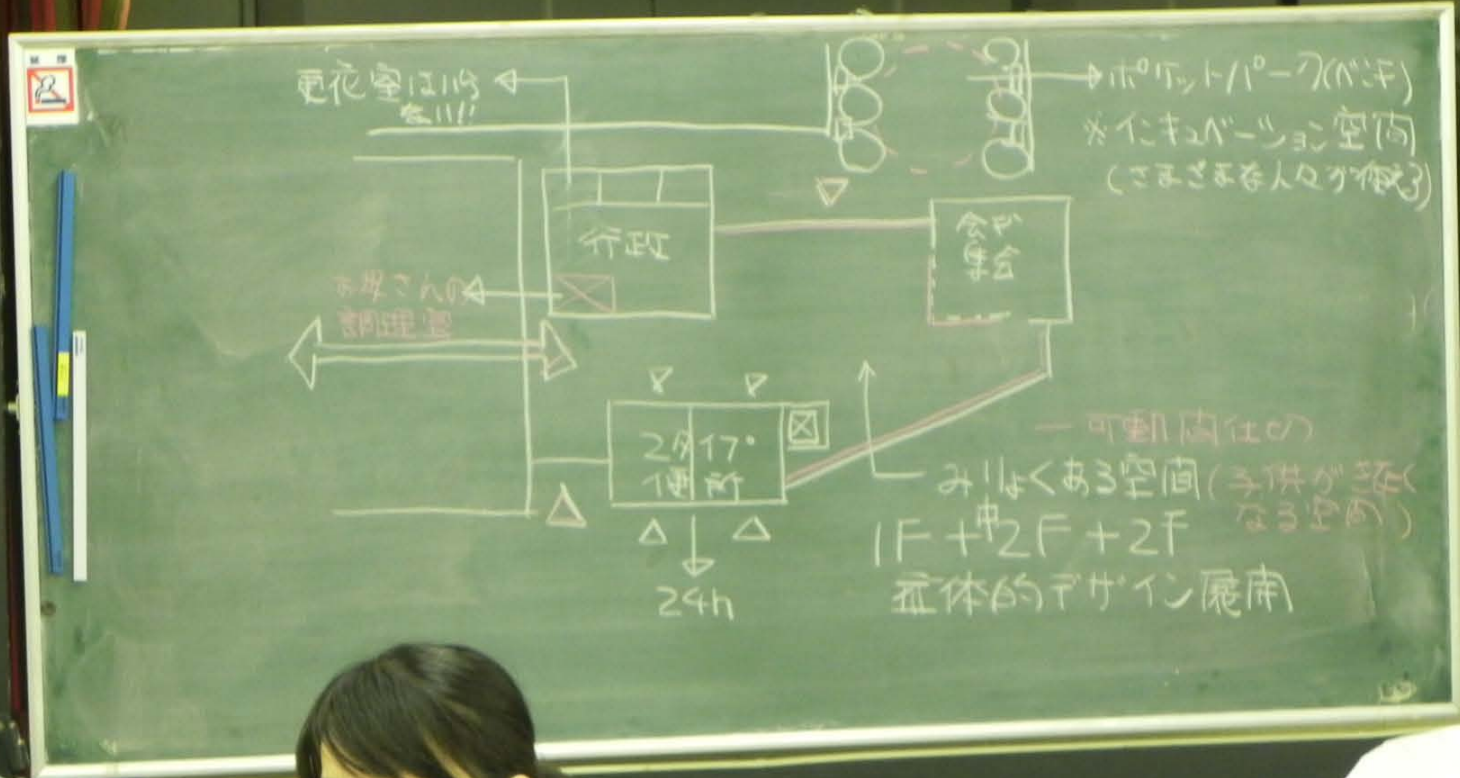
ロータリーは
必要

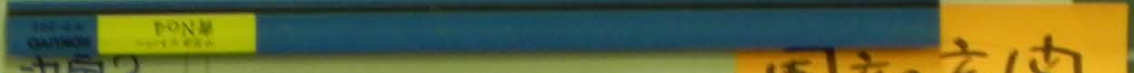
ロータリー vs 広場
は、交通技術論
に任せてもらう
は、いい。

車

おりて
みたくなる

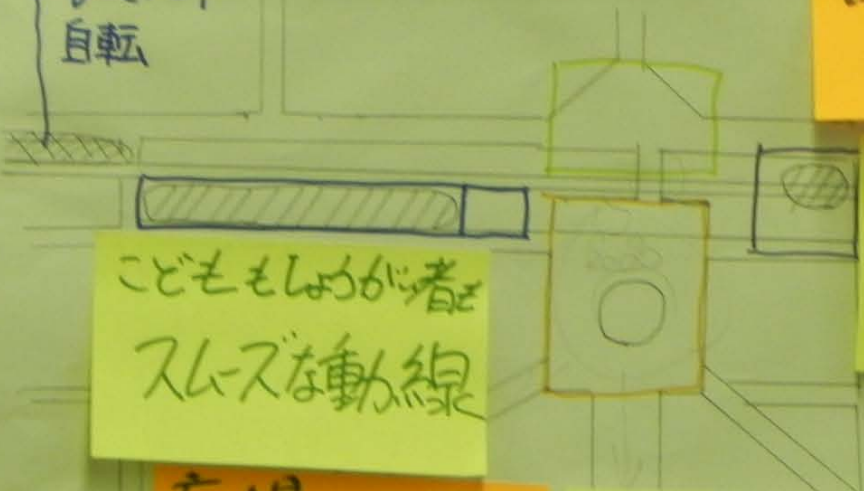
五感
大切にする。





決定?
自転

国立の玄(楽)



子どももしのかがら者
スムーズな動線

居ごこちがよい
空間:
ちびがむ、ハジチの和室
人がおぼろ^{etc}自由

広場
ロータリー
多様な^は得^る出^るを
デザイン!!

す^がこ
「^アフリー」にお^お

お立川で
国の寺に
ない。

「共存可能」な駅周辺とは？

(合意可能な共通キーワード)

- 南口は国立の「**玄関**」
- **南北一体**を全部使って**イベント**をしたい！
- 南北一体が**防災**の拠点
- **安全安心**(駅前も、周辺地域も)
- **しょうがい者と子ども**を大事にした動線・居場所
- 全てを**バリアフリー**に！
- **居心地**のよい日常空間(人がたまる)
- 多様な使い方を**タイムシェア**によって可能に

東高架下に入らない
優先度の高い公共機能を
配置することを検討

複合施設

- ・ 行政サービス機能
- ・ 図書スペース？
- ・ 駐輪場？
- ・ 集会室？

日常⇔非日常の
使い分けを踏まえた
デザインに！

↓
具体的なイベント案検討
→デザインに反映

北口

- ・ 現案の方向〇
- ・ 南口と一体で！

旧駅舎

- ・ 国立のシンボル
- ・ 「歴史」と「まち」への招待(情報発信)

南口

- ・ 国立の「玄関」
- ・ 「降りてみたくなる」魅力
- ・ 日常⇔非日常で姿を変える
- ・ 平常時は美しい駅前ロータリー
- ・ 居心地の良い空間増やす
- ・ より安全安心な歩行者動線
- ・ イベント時は歩行者空間拡大(全面が理想)
- ・ 災害時は全面を開放可能

しょうがい者・こども・
親子連れ
が集まれる場所
(東西南北とつながる)

東高架下

- ・ しょうがい者専用トイレX2
- ・ 可動式間仕切り
- ・ 駅への良好なアクセス
- ・ 行政サービス機能(最小限の面積で！)
- ・ 育児支援を重視(授乳、給湯スペース等)
- ・ 北側はポケットパーク
- ・ 集会室⇔くつろぎスペース⇔イベントスペース

駅周辺の市民活動を市民中心でマネジメントしていく組織を！¹⁰

まとめ

- 駅周辺 = 多様な人々の活動が共存できる場所
- 市民が合意できる点は沢山ある！
- タイムシェアによる共存可能性を
- 東高架下は、しょうがい者・こども・親子連れ優先の人が集まる空間（他は複合施設を検討）
- 南口は、案1でも案2でもなく「日常⇔非日常」を考慮した第3案を！
- 日常⇔非日常の活動を実際に動かす市民中心の組織を！